

## Ⅱ—1 シスコシステムズ大阪オフィス

調査先	: シスコシステムズ合同会社大阪オフィス
住 所	: 大阪市北区小松原町 2-4 富国生命ビル 24F
開催日	: 2014 年 9 月 16 日
参加者	: 7 名
記	: 長尾 大典*

### 1. はじめに

当委員会では、注目技術の技術開発やビジネス展開を行っている研究所・企業の調査、見学を行い、会員会社に広く紹介していく活動を行っている。今回は、インターネットの発展を通じたワークスタイルの革新を提唱するシスコシステムズ合同会社（以下シスコ）大阪オフィスの見学を行ったので、以下に報告する。

### 2. シスコ大阪オフィスについて

シスコは、「人」、「プロセス」、「データ」、「モノ」の全てをインターネットでつなぎ、新しい価値を創造する「インターネット・オブ・エブリシング (IoE)」を提唱している。コミュニケーションを重要視し、働き方から生活、遊び方、学び方までを変革することをビジョンに掲げ、特定の製品やソリューションの枠組みを超えてそれらを連携した「アーキテクチャ」を提供することで、あらゆる人、プロセス、データ、モノをいつでも、どこでもシームレスに安全につなげることでビジネスに変革をもたらすとしている。

これらを実践すべく、コラボレーションを重視した最新型のオフィスが今回訪問した「大阪オフィス」であり、ショールームを兼ねてこれからのオフィスのあり方について多くの提案がなされている。その中から、注目される項目について幾つか紹介する。

### 3. 見学内容

Customer Demo Roomにてシスコの会社概要説明、テレビ会議システムの体験等の後、オフィス全体を順次見学させていただいた。

#### 3.1. Customer Facing Area

このエントランスでは「バーチャルコンシェルジュ(Fig.1)」というソリューションが導入されている。これは、大阪オフィスのビデオ会議端末からネットワーク経由で東京オフィスの受付担当者呼び出すというもの。受付業務を東京オフィスにて一括で請負うことで、リソースの削減が可能となる。ビデオ会議は一般的に「対面型のミーティング」にて活用されるものと考えがちだが、新たな用途に感じられると共に、一つの変革をもたらすようにも考えられ、様々な業種での利用が想定されるのではないだろうか。

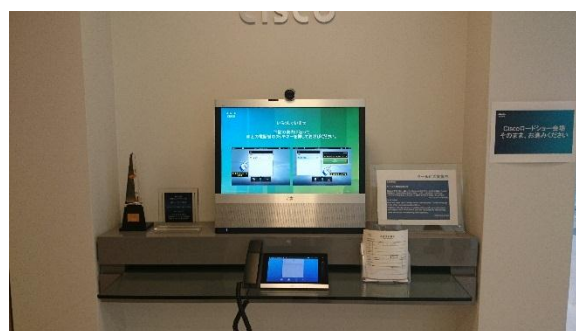


Fig.1 バーチャルコンシェルジュシステム

\* 技術調査専門委員会委員

また、簡単な打合せやリフレッシュできるエリアとして「e-Cafe (Fig.2)」というカフェサービスも提供している。



Fig.2 e-Cafe

### 3.2. Active Collaboration Room

シスコのビデオ会議システムが幾つか用意されている。人間工学的に設計されたテーブルと椅子、高解像度ビデオが準備された部屋では、非常に臨場感の高い会議が実践できる。音声、ビデオ、Web会議、メッセージングなどを統合したコラボレーションや UC (Unified Communications) のアプリケーションなどさまざまな端末も準備されている。

また iPad とのコラボレーション等、モバイル&クラウドというワークスタイルを実践している。



Fig.3 Active Collaboration Room

### 3.3. Employee Area

シスコは、これからのオフィスのあり方として「働く場所」から「顔を合わせる場所」への変革をうたっている。

そういった観点から、事務所は見渡せるフロア構成となっており、共同作業のしやすいオープンレイアウト (Fig.4) が導入されている。社員の自由な働き方を

支援するフリーアドレス制を役員まで含めて全社員に適用し、社員はオフィス内の空いている席に座り、スペースが空いていればすぐにミーティングが行える。コラボレーションできるスペースは各所に配置されており、無線 LAN によりどこでも共同作業やビデオでのコミュニケーションがとれるようにしている (Fig.5)。また、周囲に音が漏れない部屋 (APR: Audio Privacy Rooms (Fig.6)) も仕切りをつけて設けている。



Fig.4 Open Collaboration Area



Fig.5 Workstations



Fig.6 APR

### 3.4. その他

その他にも、先進的なオフィスとして特徴のあるものも見学させていただいたので、以下に紹介する。

#### ・デジタルサイネージ

社内コミュニケーションツールとしての社内報や最新情報をデジタルサイネージ (Fig.7) として提供している。



Fig.7 社内掲示

### ・省エネ

ワークスペースでは、シスコならではの照明調光システムが採用されている。シスコの UPOE (Universal Power over Ethernet) 技術により、調光機能付きの LED 照明に対し、Ethernet で給電している。Web ブラウザから調光でき、PC やスマートフォンのほか、タッチパネルディスプレイ付きの IP 電話機からも操作が行える。また省エネ率も表示 (Fig. 8) されている。

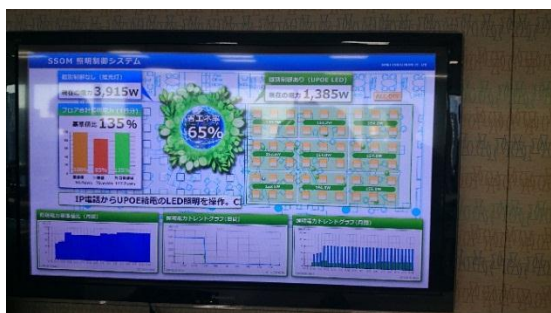


Fig. 8 省エネ状況の見える化

### ・ペーパーレス

これからのオフィスのあり方として、ペーパーレスも推進されていた。社内環境として、パソコンの普及とプロジェクターや Web 会議、テレビ会議の活用により、紙はほとんど使用していないとのこと。実際、広いオフィスの中で多くの人々が働いているにもかかわらず、フロアに複合機が 2 台あるだけであった。

## 4. おわりに

本報では、ビジネス機器・情報システムに関係が深い「新しいオフィスのあり方」に繋がる先進的なオフィスとして見学させていただいた「シスコ大阪オフィス」を紹介した。今後のオフィス環境の変化に際し、当協会の関連業種において何ができるのか、どのような対応をすべきであるのかのヒントを掴んで頂ければ幸いである。

最後に、今回の見学にご尽力を頂きましたシスコの上田様をはじめ、詳細な説明をして頂きました皆様方に厚く御礼を申し上げます。

禁 無 断 転 載

2014年度「ビジネス機器関連技術調査報告書」 “Ⅱ－1”部

発行 2015年6月

一般社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会 (JBMIA)

技術委員会 技術調査専門委員会

〒108-0073 東京都港区三田三丁目4番10号 リーラヒジリザカ7階

電話 03-6809-5010(代表) / FAX 03-3451-1770